

# ビッグプロジェクト本格化 キーワードは「動」

令和2年度の一般会計当初予算は213億7千万円です。  
新たな拠点、にぎわいの場の創出に向けた高台開発事業、ウエーブプール建設に  
対する資金貸付、安全・安心のまちづくりとして、相良地区放射線防護施設整備な  
どの予算付けをし、3年連続200億を超えた積極型予算となります。

**歳入**の個人市民税は、雇  
用・所得環境の改善  
により若干の増額ですが、法  
人市民税は、市内企業の業績  
後退に加え、税制改正などの  
影響から、市税全体では前年  
度対比7・7%の大幅な減額  
を見込みました。

財源の調整分は、財政調整  
基金（貯金）を12億円、減債  
基金を3億円取り崩すことで  
対応します。

県支出金は、産地パワ  
アップ事業や地域産業立地  
事業などの新規事業により、  
32・5%の大幅な伸びとなり  
ました。

市債は、地域総合整備資金  
貸付事業や放射線防護施設

整備事業、同報無線デジタ  
ル化整備事業、地方交付税の  
振り替えである臨時財政対策  
債6・5億円の借り入れなど  
により、4年連続で20億円を  
上回る借入となります。また、  
年度末の市債残高は210億  
円を超える見込みです。

**歳出**の民生費は、成年後  
見センターの設置や  
高齢者運転免許証自主返納支  
援事業などの新規事業を実施  
します。また、副食費の減免  
や子ども医療費の無料化も引  
き続き実施し、子育て世代の  
経済的負担を軽減します。

総務費は、ふるさと融資事  
業（ウエーブプール）や行政  
サービスICT化への取り組

み、公共交通に係る経費、移  
住・定住に係る補助金を計上  
しました。

衛生費は、婦人科検診ク  
ポン券事業を実施し、受診率  
向上を図ります。予防接種事  
業や産婦健診・産後ケア事業  
なども実施し、妊産婦の支援  
を図ります。

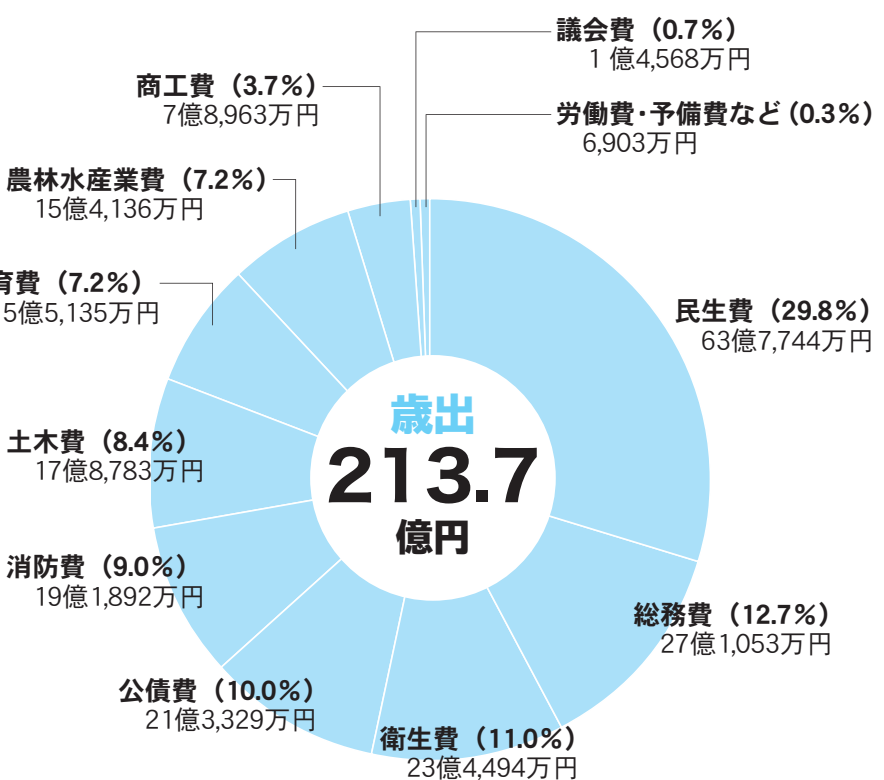
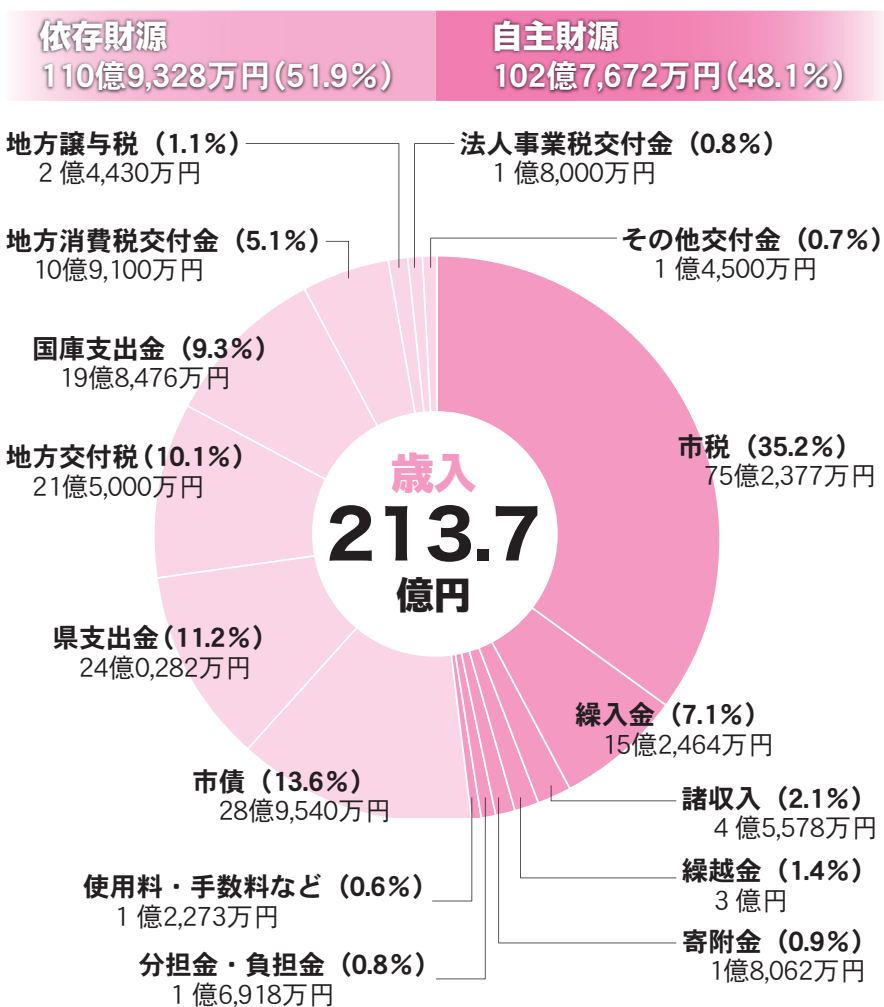
土木費は、にぎわいの場の  
創出のため、大型商業施設な  
どを含めた相良牧之原IC北  
側開発事業費を計上しました。  
細江地区の浸水対策事業、ふ  
るさと体験の森公園多目的広  
場・駐車場整備事業なども実  
施します。生活道路などを改  
良する空港隣接事業なども引  
き続き実施します。

教育費は、相良図書館整備  
事業を計上し、市民生活を支  
える知や文化の拠点および資  
料や情報を通じて市民が社会  
の現実を目指します。ま  
た、学校施設改修事業などに  
より、児童生徒の教育環境の  
整備を図ります。

農林水産業費は、防霜施設  
整備による圃場環境の改善、  
担い手の茶業経営の支援、た  
め池ハザードマップの作成を  
するほか、昨年に続き、皇室  
に静岡牧之原茶を献上する事  
業を実施します。

消防費は、相良地区放射線  
防護施設整備事業や寄子防災  
広場整備事業、消防団詰所建  
設事業などを計上しています。  
防潮堤の整備事業も実施し、  
市民の安全・安心に取り組み

商工費は、企業立地に対す  
る補助金、地域おこし協力隊  
の拡充のほか、市内で生産し  
た農林水産品や加工品などの  
展示・販売を行い、地場産業  
の振興を図ります。



## 用語解説

- ▶ **予算** 一般会計（市の行政運営の基本的な経費を經理する会計）、特別会計（特定の事業を行うための会計）、企業会計（民間企業と同様に独立採算で運営する会計）の3つに分かれている
- ▶ **歳入** 地方公共団体の会計年度におけるすべての収入
- ▶ **自主財源** 地方公共団体が自主的に収入できる財源。地方税、分担金および負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金など
- ▶ **依存財源** 国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入。地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など
- ▶ **市税** 市に収められた税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
- ▶ **繰入金** 市の基金（貯金）などから一般会計へ入れるお金
- ▶ **諸収入** 延滞金や預金利子、雑入など、他の歳入科目に含まれない収入
- ▶ **市債** 国や金融機関などからの借入金（市の借金）。公共施設の整備などの財源を調達するために借り入れる
- ▶ **国庫支出金・県支出金** 市町村が行う特定の事業に対して、国または県から交付されるお金
- ▶ **地方交付税** 全国の市町村が標準的な行政サービスが行えるように国から市町村に交付されるお金。国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税などの一定割合の額を再配分するもの
- ▶ **歳出** 地方公共団体の会計年度におけるすべての支出
- ▶ **民生費** 高齢者や障がい者にたいする福祉や子育て支援など、安定した社会生活を保障するための経費
- ▶ **総務費** 行政全般の事務などに関する経費
- ▶ **衛生費** 健康増進や疾病予防、環境保全など、市民の健康で衛生的な生活を維持するための経費
- ▶ **公債費** 市債の元金や利子を支払う経費
- ▶ **消防費** 常設消防（消防署の運営経費）、消防団活動の支援、防災対策のための経費
- ▶ **土木費** 道路や河川など社会資本を整備するための経費
- ▶ **教育費** 教育や生涯学習の充実、文化振興などのための経費
- ▶ **農林水産業費** 農業振興のための支援や農業基盤整備のための経費
- ▶ **商工費** 商工業や観光の振興、企業誘致、空港利用促進のための経費
- ▶ **議会議事料** 市議会を運営するための経費
- ▶ **労働費** 勤労者の福利厚生や雇用対策のための経費
- ▶ **災害復旧費** 自然災害の被害を受けた施設などを復旧するための経費
- ▶ **予備費** 予算編成時に予期しなかった支出に対応するための費用

各会計の予算額		
会計名	予算額	伸率
一般会計	213億7,000万円	5.1%
特別会計	99億3,588万円	△1.7%
国民健康保険	50億2,577万円	△2.9%
後期高齢者医療	5億2,724万円	6.4%
介護保険	43億6,834万円	△1.1%
土地取得	15万円	△62.2%
農業集落排水事業	1,438万円	4.9%
企業会計	14億2,750万円	0.0%
水道事業	14億2,750万円	0.0%
総合計	327億3,338万円	2.7%

\*水道事業会計の予算は収益的支出額と資本的支出額の合計。  
\*総合計は一般会計、特別会計、企業会計の合計。